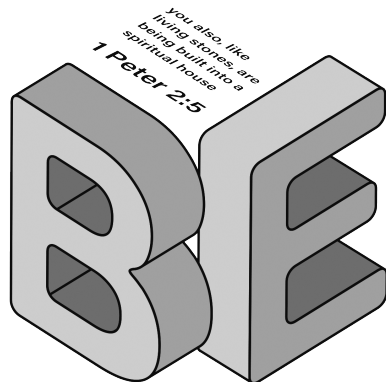


# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。  
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/8/4(月)

## Ⅱ列王記 4:18-44

●長年願っていてやっと与えられた1人息子を亡くした女性の気持ちを考えてみよう。(18-20、28)

●30節の「主は生きておられます。あなたのたましいも生きています。私は決してあなたを離しません」という言葉は、シュネムの女から神の人エリシャへの言葉だったが、彼女の神様への言葉でもあるように見える。

★失意の中神様を信頼できる信仰は素晴らしいけど、なぜ彼女はここまで神様を信頼できたのだろう。今までのシュネムの女とエリシャの関係から考えてみよう。その中で、自分にもできることはないか探してみよう！

2025/8/5(火)

## Ⅱ列王記 5章

●ナアマンについて分かることを整理しよう。彼はどんな人物で、どんな問題を抱えていた？

●エリシャのところに来たナアマンだったが、彼は激怒して去ろうとした。彼がエリシャのことばに従うのを難しくさせていたのは何が原因だろう？君の場合、信仰の行いの妨げとなるものはどんなものがあるだろう？

●いやされたナアマンは信仰をどのように表そうとしただろう。一方ゲハジの残念な点は何だろう？信じている信仰を実際の生活や生き方に表していこう！

2025/8/6(水)

## Ⅱ列王記 6:1-23

●1-7節で起こった問題は？どんな奇跡が起こった？

●8節からはアラムによる国家的な危機が襲う。エリシャたちがアラムの軍隊に囲まれたとき、そのことを報告した召使いとエリシャのしているものはどのように違っていただろうか。

●失敗したときや、思わぬ危機が襲うとき、常に神様が私たちの助けであることを思い出そう。信仰の目を開いて、神の現実を見ることができるよう祈ろう！

2025/8/7(木)

## Ⅱ列王記 6:24-33

●この箇所はサマリアの地にどんな危機がおこっていたかな？25節

この箇所は、平和的に解決したアラムに包囲されるところからはじまるね。サマリアは大飢饉に加えて包囲もあって、少しの鳥の糞(イナゴ豆のさや?)でさえ、一月分の給料なんだ。民は限界すぎて自分の子供食べちゃうし、王はそれを聞いて、エリシャと神様のせいするよ。信仰のない王の使者は『何を主に期待するのか』と言うけれど、主のわざわいにあった時こそクリスチャンは神様に期待するべきだよ。みんなが今、苦しいことやどうしようもないことがあったりしないかな？あったら神様を信じてゆだねてみよう！

2025/8/8(金)

## Ⅱ列王記 7章

●町は食料不足だった。エリシャが受け取った神様のことばはどんな内容だった？そして王の側近だった人はそれを信じただろうか？1-2v

●16-20vを読もう。この話の結末はどうなっただろうか？

●みことばは必ず実現する、ということ覚えよう。信仰は礼拝を守ることで聖書を読むことでもない。それらは大切なことだけど、本当に大切なのは神様を信頼するってことなんだ。

2025/8/9(土)

## Ⅱ列王記 8章

今日の箇所はいろいろな話がでてくるね。エリシャの教えてくれたことにしたがいペリシテの地で飢饉から逃れた女性と家族、自分の病気について知りたがるアラムの王様、イスラエル人に害を与えようとしていると語られるハザエル…

どれもそれぞれ人が思っていることを超えて働かれる神様のことばがあるね。そこには、神様の忍耐強い愛と導きがあったんだ。

今、自分の思いを超えてずっと変わらずに注がれている神様の愛と導きを考えて、実際に何に従えばいいのか神様に聞いてみよう！

2025/8/10(日)

## Ⅱ列王記 9:1-13

エフーはエリヤでもエリシャでもない無名の若い預言者から油を注がれて王とされました。これは預言者の使命継承を示しています。若者は神様の言葉を伝えたとすぐに立ち去り、権力闘争に巻き込まれる危険を避けました。このことによって、後に起こることのすべては神様の言葉を聞いてそれを行うエフー自身の決断と責任に委ねられました。

●祈り  
神様、罪に迷う私たちにみことばを語ってくださり感謝します。聖霊によって、正しく聞き、従う力を与えてください。